

【 おおた教育ビジョン 】

ビジョンⅠ→プラン1 (P1) : 未来を創造的に生きる子どもの育成《未来》

ビジョンⅡ→プラン2 (P2) : 学力の向上《知》 プラン3 (P3) : 豊かな心の育成《徳》 プラン4 (P4) : 体力の向上と健康の増進《体》

ビジョンⅢ→プラン5 (P5) : 魅力ある教育環境づくり《学校・教職員》

ビジョンⅣ→プラン6 (P6) : 学校・家庭・地域が一体となってともに進める教育《学校・家庭・地域》

【 学校教育目標 】

○よく考える子 . . . . 主体的に取り組む姿勢、論理的に深く考える力を身に付け、豊かに表現できる子を育てる。

学力の基礎・基本を確実に身に付けるとともに、既習事項や経験を生かして物事を発展的に考える児童を育てる。

◎思いやりのある子 . . . . 自己肯定感をもつとともに、他者を尊重する豊かな心を持ち、人にやさしくできる子を育てる。

異年齢、異文化等、自分以外の価値観を認め合って仲良くできる児童を育てる。

○明るくじょうぶな子 . . . . 心身ともに健康であることを目指し、目標をもって粘り強く運動に取り組む児童を育てる。

目指す学校像

「明日も行こう」と思える楽しい学校

◇授業が楽しい:わかる授業・学習意欲がわく工夫された授業

◇運動が楽しい:「できた!」の実感がもてる授業・遊びの要素から技能の習得

◇学校での生活が楽しい:良好な人間関係・やりがいのある活動・認められる自分

【目指す教職員】

児童・保護者・地域から信頼され、やる気とやりがいをもって児童の教育を行う教職員

【目指す環境・施設】

安全で使いやすく、整然と整った環境・施設

【学校全体】

児童も教職員も凡事徹底（当たり前のことを徹底的に行う）することで、大きな問題や服務事故の起きない落ち着いた学校

学校経営目標

1【 豊かな心の育成 P3 】

① 校内研究実践を通しての自己肯定感・自己有用感の育成⇒「特別活動」に取り組む。良好な人間関係が築ける力を付け、やりがいのある活動に取り組ませることで、児童の自己肯定感や自己有用感を育む。

② 道徳教育の推進⇒他者の人権を尊重する人権教育を推進し、人権教育資料等を活用した授業を実施する。

③ 挨拶の励行⇒コミュニケーションの第一歩である挨拶を大切に、年間を通して児童・保護者・地域に働きかける。

④ サポートルームの充実⇒学級支援やユニバーサルデザインの授業を推進する。SR の教育活動について、児童や保護者に啓発する。

2【 学力の向上 P2 】【 未来社会を創造的に生きる子どもの育成 P1 】

① 校内研究での実践の継続と実行⇒主体的・対話的で深い学びや、物事を発展的に考える力を児童に身に付けさせる。

② 授業での積極的な ICT 活用⇒児童の情報活用能力を育成し、児童がわかりやすい授業を展開することで学力の向上を目指す。

③ 基礎的・基本的な学力の定着⇒ドリル学習や小テスト、家庭学習を確実にに行わせることで、基礎学力を身に付けさせる。

④ キャリア教育の推進⇒目標設定・実践・振り返りのプロセスを記録した「キャリアパスポート」を作成し、目標に向かって挑戦する力を育てる。

⑤ 環境教育の推進⇒環境問題を考える「きっかけ」として全校でエコキャップ回収活動を行い、環境問題を自分事として考える意識を醸成する。

3【 体力の向上と健康の増進 P4 】

① 「早寝・早起き・朝ごはん」の実践⇒充実した学校生活を送れるように、年間を通して児童に啓発し保護者に実践の協力を仰ぐ。

② 体育学習の充実⇒目標を決め振り返る時間を設定したり、めあてカードや体育ノートを用いて継続的に指導したりすることで、粘り強く取り組む姿勢を身に付けさせ体力を向上させる。「体育嫌い」を作らないために指導方法を工夫する。

③ 体力の向上⇒短縄跳びや持久走、朝の「フリー・ジョイ・ランニング」等、一人ひとりが目標を立てて粘り強く取り組める内容を実践させる。

4【 魅力ある学校環境づくり P5 】【 学校・家庭・地域が一体となってともに進める教育 P6 】

① 教員の授業力・折衝力・カウンセリングマインド等の向上⇒校内 OJT 組織を活用して、より良い児童指導に向けての力を高める。

② 整然とした環境・施設⇒安全点検や清掃活動等を確実に、安心・安全で整然と整った環境・施設を保持する。

③ 落ち着いた学級・服務事故のない学校⇒当たり前のことを徹底して行う「凡事徹底」を全教職員で実践する。

④ ホームページの充実⇒学校の様子を保護者や地域に広く公開するために、ホームページを充実させる。